令和４年度 第８号　令和４年 12 月 12 日

鶴星

阿久根市立鶴川内中学校

校　訓	スクールコンセプト	ともに夢と希望を育む鶴川内中
協調 自律 自主	一　校　一　風	育てよう花と心と大きな夢を

校長室の窓から　メディア（情報端末）を上手に活用しましょう

校長　井久保　康彦

冬の寒さの到来とともに師走（しわす）（１２月）に入り，どことなくあわただしさを感じるようになりました。年の瀬を控えたこの時期になると一年間の時間の流れの速さを痛感します。

ところで，２学期の期末テストを終え，生徒は今学期の学習のまとめをしています。思うような結果を得られた教科については，さらに難しい問題に進んで取り組み，逆に思うような結果が得られなかった場合は，基礎・基本的事項について徹底的に復習してほしいものです。

さて，今年度から生徒の皆さんに，メディア（情報端末）を上手に活用できる能力を身に付けてもらうために各御家庭にご協力いただきつつ，「ノーメディアチャレンジウィーク」に取り組んでいるところです。これまでに３回の取組期間を終えましたが，生徒が「メディアを上手に利用できるようになる」といった目的に近づけているでしょうか。以下にテレビを例にしてメディアを利用する時間を自分でコントロールすることでどのようなメリットが生まれるのかについて参考文献から抜粋してみました。

「テレビを見なければ，２カ月分の時間を捻出できる」

「テレビを見ないと生活できない」と。では，あなたは今まで，毎年貴重な時間をどのくらい浪費してきたかを計算してみましょう。数値化すれば，明確になります。

毎日，平日は最低２時間くらい見た場合，５２週（１年間）×５日（平日）×２時間＝５２０時間

さらに，土・日は5時間くらい見た場合，５２週（１年間）×２日（土日）×５時間＝５２０時間

合計は，５２０時間＋５２０時間＝１，０４０時間　（１，０４０時間÷２４時間（１日）＝４３日分）

実は，１年のうち１カ月半近くテレビに費やしていることになります。人間の身体は食べた物が栄養になり，その栄養の質で身体の成長や健康が大きく左右されます。同じように，人間の脳はインプットされた情報が栄養になり，その情報の質で人格や能力が大きく左右されます。周りの情報，またはインプットされる情報の質の違いで，考え方に差が生まれます。　**（参考文献「１日３０分」を続けなさい！　古市幸雄著）**

これはテレビに限ったことではないので，上の文章を「テレビ」から「メディア」に読み替えても人生の貴重な時間をどれほどもったいないことにしてしまっているのか分かると思います。確かにテレビのニュースや自然科学番組などから有益な情報が得られることもありますし，インターネットなどで必要な情報を検索することもできますが，メディアに触れる時間を自分の意思でコントロールできているでしょうか。「やるべきことをやる」ことができて，自分の意思でメディアを上手に利用できているでしょうか。先日行われたネットリスクに関する講演会でも講師の先生が「メディアを上手に利用する」ことの大切さをお話しされていましたが，これからの社会において，生徒の皆さんがメディアを利用しないで生活することはできないでしょう。そう考えるとネット社会のリスクを避けながらメディアを上手に利用するためには，今のうちからメディアをコントロールする力を身に付けることが大切です。そのためには，一日の生活時間の中でメディアの利用時間を親子で話し合って決めることやその時間が本当に必要な時間なのかを親子で常に話し合いながら見直していくことが大切だと思います。

最後に，今年も物心両面でいろいろな面で保護者及び地域の方々から心温まるご支援をたくさんいただきました。誠にありがとうございました。よいお年をお迎えください。

主な行事予定

月	日	曜	１２月～１月前半の主な行事
１２	１０	土	校内持久走大会 １・２年学級PTA
	１１	日	PTA 門松づくり 8:00～
	１４	水	学力検査（～15）
	１６	金	１年　性に関する指導
	１９	月	２年　がん教育「いのちの授業」
	２３	金	終業式
	２８	水	仕事納め
１	４	水	仕事始め
	１０	火	始業式　美化作業　視力検査
	１２	木	３年実力テスト（～13）
	１４	土	立志式　立志記念遠行
	１７	火	1.2 年鹿児島学習定着度調査（~18）
	２７	金	PTA 役員選出に係る話合い

PTA学習会を12月16日（金）19:00～に延期しました。講師は，鹿児島純心女子短期大学の大竹山なつき先生です。

Web交流

11 月 29 日（火）に生徒会役員が行いました。

前回の市中学生会議で話題となり，岩手県八幡平町立安代中学校の生徒会役員とWeb交流が実現しました。

今回は，阿久根のことや，鶴川内中学校の紹介を行いました。

努力目標	冬休みの生活設計を立てよう。	一事徹底	登下校の交通ルールを守ろう。

「キャリア教育」研究公開

11月18日（金）に，令和３・４年度の取組について公開しました。

約30人の来校者があり，本校の研究について公開授業・研究発表を行いました。多くの先生方から鶴川内中学校の取組，生徒・保護者・教職員の姿に対して，お褒めの言葉をいただきました。学校環境の整備をはじめ，当日の運営まで，皆様にたくさんの御協力・御支援のおかげです。ありがとうございました。

県PTA活動研究委嘱公開

11月19日（土）に２年間のPTA活動の成果について発表を行いました。

本校研究テーマ「学ぶことや生きることの尊さを伝えられるPTA活動の充実を目指して」をもとに，これまで取り組んできた活動及び成果と課題について，令和3・4年度のPTA会長が笑顔を届けましょう!と掛け合いながら，分かりやすく発表してくださいました。

健康教室・3年学級PTA

情報モラル教育として，11月25日（金）に，家庭教育学級を兼ねて行いました。

子どものネットリスク教育研究会副代表兼参与の戸高成人先生から「健康被害とメディアの危険な関係」と題し，ネット社会を生き抜くための知識と考え方について講話いただきました。危険な関係や実態を知り，よりよい生き方につなげていきましょう。

持久走大会

12月10日（土）に，校内持久走大会を実施し，１，２年PTAを行いました。大会新記録も出ました！

【１～６位】男子

①３年	池田	丈児	24：11
②２年	前田	寵	26：17
③２年	的場	舜	27：12
④３年	又間	力	27：18
⑤２年	冨吉	正太	28：02
⑥２年	木下	和哉	29：32
【躍進賞】	上野	天	-10：27

【１～６位】女子 ①大会新

①２年	宮前凪綺夢		16：53
②２年	若松	夢空	17：47
③３年	坂松	星空	18：10
④３年	奥園こゆき		20：52
⑤３年	田原ほのか		22：21
⑥２年	新塘ゆきな		23：33
【躍進賞】	新塘ゆきな		-2：20

生徒会引継式

11月９日（水）に２新生徒会へバトンパスされました。

今期生徒会長の青木想玖星さんを中心とした役員から来期生徒会長となる若松夢空さんを中心とする役員へと引き継がれました。生徒が主体的に企画・運営する伝統や校風を更に発展させ，生徒会活動の充実を目指します。

【新生徒会役員】 生徒会長 若松 夢空
副 会 長 的場 舜，児玉成海 書記・会計 潟 直哉
学習文化部長 宮前凪綺夢 副部長 前田 寵
生活保体部長 児玉 泰成 副部長 田原 琉輝

PTA門松づくり

12月12日（日）に，生徒12人，保護者11人で学校の門松づくりを協力して行いました。

多くの方のご協力で，鶴中らしい門松が出来上がりました。今年度は生徒がすべて飾り付けました。ご協力ありがとうございました。

★顔の傷

私は母の顔がすごく嫌いだ。なぜなら大きなやけどの跡があるからだ。他のお母さんは，あんなに綺麗なのに何で私の母は…とか，何でこの人が母親なんだろうとさえ思ったことがあった。そんなある日のこと。その日の４時間目に，私はあることに気付いた。タベ徹夜で仕上げた家庭科の課題が手元に無いのだ。どうやら家に置いてきてしまったようだ。あたふたして勉強も手につかない。家庭科の授業は５時間目。昼休みに自宅まで取りに帰ることを決心した。４時間目も終わり帰る準備をしていたら，クラスメートが「めぐみ～めぐみ～，お母さんが来てるよ。」と言いった。私ははっとし，急いで廊下に出てみると，なんと母が忘れた課題を学校まで届けに来ていた。「なんで学校にきてるのよ。取りに帰ろうと思ってたのに。」と息を立てて問い詰めると「でも，めぐみちゃん，タベ頑張ってやってたから。」と言った。私は「お化けみたいな顔して学校来ないでよ，バカ」と言って母から課題をひったくるように取り上げるとすたすたと教室に入っていった。自分の母親があんな顔をしていることを友人たちに知られてしまったことで，私は顔から火が出る思いだった。その日の夕飯後のこと。私は父親に呼ばれた。昼間のことで怒られるのだろうな…と思っていると，父親は予想に反してこんな話を始めた。「お前がまだ生まれて数か月の頃，隣の家で火事があってな。その火が燃え広がって，うちの家まで火事になったことがあったんだよ。そのときに２階で寝ていたお前を助けようと母さんが煙に巻かれながらも火の中に飛び込んでいったときに，顔に火傷を負ってしまったんだよ。今，お前の顔が綺麗なのは，母さんが火の中に飛び込んで行ってお前を助けたからだよ。」

私はそんなことを初めて聞いた。そういえば，今まで火傷の理由を母に聞いてもあやふやな答えしか返ってこなかった。「なんで今まで黙ってたの。」私は涙ながらに母に聞くと，「めぐみちゃんが気にすると思ってずっと黙ってようと思ったんだけど…」と言った。私は，母への感謝の気持ちと，今まで自分が母親に取ってきた態度への後悔の念とで，胸が張り裂けそうになり，母の膝の上でずっと泣いていた。今では，母の顔のことが誇りにさえ思えるようになった。

親子だからこそ言ってしまう一言がある。今隣にいる仲間に対しても同じ。心ない言葉で誰かを傷つけない人でありたい。そのためには，見えないものを見ようとし，聞こえない声を聴こうとすることが極めて重要だ。誰しも悲しみや寂しさを背負っていることを忘れずにいましょう。同じ方向を向き，思いをもって具体的に動くことが友情の１つだ。お別れをするときに綺麗だと思える「今」を過ごそう。別れは肝心だ。